

平成29年10月22日執行

三重県
第三区

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(第1頁)

三重県選挙管理委員会

**転換点にある日本。
今こそ、大きな改革と外交が求められています。**

① 急激な人口減少に歯止めを

急激に進む人口減少に歯止めをかけなければなりません。そのためには、第1に、働きながら子育てできる環境整備が重要です。保育所整備の加速化、児童手当や育児休業給付の拡充、長時間労働規制などを実現します。第2に、より根本的な問題は、結婚を望みながら経済的な理由で諦める人が数多くいることです。日本人男性の4人に1人は生涯未婚とされています。非正規雇用から正規雇用への転換を進める、貧困問題により積極的に取り組むなど、誰もが望めば結婚し、家庭を持つことができる日本にします。

② 次世代にツケを回さない持続可能な財政を

国と地方の借金が1,000兆円を超えるなか、これ以上、次世代に負担を先送りすることは許されません。まずは、新たな借金に頼らずに毎年の収支で政策を実施できるよう、政府の歳出を見直し、歳入を増やさなければなりません。国民の皆さんに現実を正直に説明し、理解を得ることが政治家の役割です。財政健全化の目標を明確にし、その達成に向けた道筋を具体化することで、持続可能な財政を実現します。

③ 平和な日本を実現する新たな東アジア外交を

北朝鮮の核放棄を実現するためには、当面、強力な経済制裁で対話の場に引き出すことが必要です。しかし、その過程で武力衝突ということになれば、日本にも甚大な被害が生じる可能性があります。あくまで話し合いで、北朝鮮の核放棄と将来の北東アジア非核化を目指します。また、北朝鮮問題を含め、中国・韓国との関係は今後ますます重要となります。首脳同士の信頼関係と国民レベルの相互交流を車の両輪として、日中・日韓関係の深化に取り組めます。

今回の衆議院総選挙、私は無所属で戦います。
ただし、今回の総選挙最大の目標は、安倍一強政治の打破です。自民党の議席をどれだけ減らせるかが最も重要であり、戦う相手が自民党であることは変わりません。
私は、政権交代可能な政治の実現を目指して、25年以上、その信念を貫いてきました。野党陣営は今、混乱しています。しかし、この短い混乱期を経て、本当の意味で自民党に対抗できる野党を立ち上げる。そして、政権交代可能な政治を実現する。これが、私が見据える目標です。
総選挙は、本当に厳しい戦いになります。
岡田かつやへの一層のご支援をよろしくお願いいたします。

一強政治の打破

私の信念は変わらない



(プロフィール)
●1953年/三重県四日市市生まれ。中部西小、中部中出身。東大法学部を卒業後、旧通産省入省。
●1990年/衆議院議員に初当選し、当選9回。
●1993年/政治改革の実現を訴えて自民党を離党。以後、「政権交代可能な政治の実現」という信念を貫き通す。
●政権時代は、外務大臣、与党幹事長、副総理を歴任。
●2015年1月、民主党代表に再登板。野党結集を進め、民進党を結党。16年9月の任期満了まで代表を務めた。

無所属

岡田 かつや

最新情報配信中
岡田かつや 検索

清潔で、勇断できる政治を。

〈国防〉
自分の国は、自分で守ろう!

- 国民保護を徹底し、北朝鮮危機にしっかり備えます。
- 万一の場合に備え、先進国並みに核シェルターを普及させます。
- 日本を守る自衛隊が十分活躍できる体制をつくります。
- 北朝鮮には憲法9条適用除外で、国民を守ります。

〈経済〉 ~減税こそ、最大の福祉
下げよう!消費税5%

- 消費税を5%に引き下げ、家計を守ります。
- 民間活力を最大化し、所得倍増を実現します。
- 公教育の質を高め、塾に頼らない学校をつくります。
- 長寿を祝福できる生涯現役社会をつくります。

幸福実現党
hr-party.jp

こうふく
比例は「幸福」へ。

まごころ一本!
大和の心を未来へ!
将来に夢や希望を持つことができ、豊かで、安らげる家庭を築くために、子供たちを安心して学校に通わせるために、老後の生活の心配を解消するために、日本の平和を守るために、本気の覚悟で、政治を行います。



坂本マキ さかもとまき プロフィール
1984年三重県四日市市生まれ。名古屋芸術大学美術学部、同大学院美術研究科修了。絵画展への出品、個展開催などの芸術活動を行う。(株)NTTフィールドテクノ勤務。2015年HS政経塾入塾。2017年 幸福実現党三重第三選挙区支部長就任。

公認 幸福実現党
坂本マキ さかもと
(33歳)

第48回衆議院議員総選挙 第24回最高裁判所裁判官国民審査

投票日は
10月22日(日)

【期日前投票】
10月21日(土)まで

※10月22日に仕事、旅行、レジャー等で投票できない方は、期日前投票をしましょう。

「日本の明日を、私たちが決めよう。」

三重県選挙管理委員会



※ 衆議院議員の小選挙区が改定され、今回の衆議院議員総選挙から新しい選挙区で選挙が行われます。

市民野党で

安倍政権を倒し新しい日本に



日本共産党

野村まさひろ 61歳

平和であってこそ、よりよい暮らしづくりができます。安民法制9条の廃止、憲法9条の改定を許さず、平和な日本をつくるために頑張ります。ぜひ私を国会に送ってください。

国民の生かせる政治を

森友・加計疑惑など国政を私物化し、「共謀罪」法の強行など憲法破壊はゆるせません。数におごった安倍政権に退場の審判を。

① 安民法制9条改憲ノ！ 戦争法は廃止、

憲法に自衛隊を書き込んだら、無制限の海外での武力行使に道を開きます。

② 北朝鮮問題は

対話による平和的解決を 北朝鮮の核・ミサイル開発の解決の道は、制裁強化と「対話と交渉」による解決です。

③ 消費税10%はキツパリ中止

増税するなら富裕層と大企業から 富裕層と大企業に充分の負担を求め、大企業の内部留保金を活用すれば、消費税に頼らなくても大丈夫。

④ 税金は社会保障、若者、子育てに

8時間働けば普通に暮らせる社会へ 税金は、社会保障、若者、子育てを中心に。8時間働けば普通に暮らせるよう働き方の改革を

⑤ 核兵器禁止条約に参加を

歴史上初めて核兵器を違法とした「核兵器禁止条約」に日本政府は背を向けています。核廃絶の先頭に立つ日本に。

比例代表は
日本共産党と

1955年京都府生まれ。三重大学工学部卒業。2003年生活協同組合コープみえ勤務。現在/衆院3区国政対策委員長

憲法9条を守る一票は野村まさひろと日本共産党へ

時代は変わる、時代を変える！ 自民党

三重3区の課題 なぜこの地域だけ取り残されているの？

渋滞の解消
インフラ整備は地域住民の命や産業を支える基盤

災害の心配
地域住民の命を守るために早急に解消しなくてはならない課題

北勢地域は日本屈指の渋滞箇所であるにもかかわらず、地域の課題を国政に届ける国会議員がいなかったことが大きな原因です。

- 災害時の避難道路として必要不可欠
- 伊勢大橋架け替え 昭和51年度事業化
- 東海環状自動車道(北勢~四日市) 平成2年度事業化
- 北勢バイパス 平成4年度事業化
- 四日市湯ノ山道路 平成9年度事業化
- 震4号幹線道路 平成16年度事業化

濃尾平野はゼロメートルの面積は日本一であり、伊勢湾台風でも甚大な被害が発生した地域です。また排水が困難なことから、一度浸水した場合には浸水の長期化が予想されます。

●木曾三川の下流部対策
→ハード整備の強化と避難対策が早急に必要です。

島田よしかず 2期5年の実績

インフラ関係予算大幅増額

その結果は

迅速に工事が進行!

インフラ整備により、洪水を未然に防ぎました。

機転を利かせた予算活用。

民主党政権から自民政権に代わった平成24年度補正予算以降、道路や河川といったインフラ整備関係予算が大幅に増額しました。

●平成25年度中勢バイパス第5工区 異例の1年前倒しでの開通

●大規模な鈴鹿川掘削事業を実施 洪水被害を未然に防ぐ
平成25年以降、大規模な河床掘削と樹木伐採を実施した結果、大幅に水位が下降→翌年8月の台風では鈴鹿川流域で記録的な雨量が観測されるも氾濫を免れました。

河川掘削をしていなかった場合、鈴鹿川が氾濫していた可能性が極めて高く、もし氾濫していれば被災人口約36,800人、約3,500億円の被害が出ていたとの試算が出ています。

●鈴鹿市内全小中学校にエアコン設置
鈴鹿市と協議の結果、従来の文科省予算ではなく、環境省の「公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業」を活用する事に決定、全国で3例目に採択されました。



自由民主党
公認

島田よしかず 47歳

島田よしかずプロフィール
昭和45年5月8日生まれ
平成24年衆議院選挙初当選
平成26年2度目の当選
主な役職
【衆議院】外務委員会理事
経済産業委員会委員
東日本震災復興特別委員会理事
【自民党】外交部副部長
経済産業部副部長
運輸交通関係団体委員会委員長
学歴
私立開成高校、ユタ州立大学
主な経歴
ワーナーミュージック
レッドブルジャパン

衆議院議員候補 三重3区 島田よしかず は全力で取り組みます

政権与党議員がしっかりと地元自治体と協力して取り組むことで、様々な地域の課題を解決できます!!

第48回衆議院議員総選挙 第24回最高裁判所裁判官国民審査

投票日は

10月22日(日)

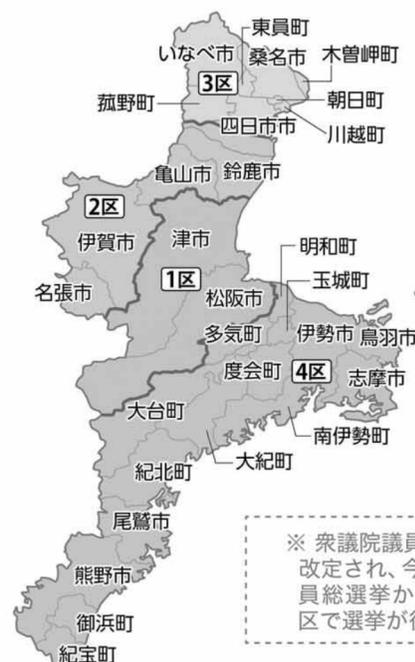
【期日前投票】

10月21日(土)まで

※10月22日に仕事、旅行、レジャー等で投票できない方は、期日前投票をしましょう。

「日本の明日を、私たちが決めよう。」

三重県選挙管理委員会



※ 衆議院議員の小選挙区が改定され、今回の衆議院議員総選挙から新しい選挙区で選挙が行われます。